

工業高校へようこそ

新庄中2年生が実習体験



田辺市あけぼのの田辺工業高校はこのほど、同市新庄中学校の2年生(50人)を対象にした体験教室を開いた。中学生が高校生に手順やコツを教わりながら、実習の楽しさを体感した。

物づくりや工業高校への関心を高めてもらおうと、2014年から毎年企画している。

中学生は、電気電子科、情報システム科、機械科に分かれてそれぞれ体験。車のエンジンを組み立てたり、コンピュータ利用設計システム(CAD)で図面を描いたり、テーブルタップ(コンセント)を製作したりと、工業高校ならではの実習に取り組んだ。

新庄中2年の平田穂高君(13)は「もともと機械が好きで、卒業後は工業高校に行

△ 機械科の生徒(左から2人目)に教わりながら、エンジンの組み立てに挑戦する

＝田辺市あけぼの

きたいと思っている。実際に体験してみても、ますますその思いが強くなったと話した。新庄中の卒業生で機械科2年の中戸奎介君(16)は「中

学生がしっかりと話を聞いてくれてうれしかった。これにきっかけに工業高校に興味を持てた」と笑顔をみせた。